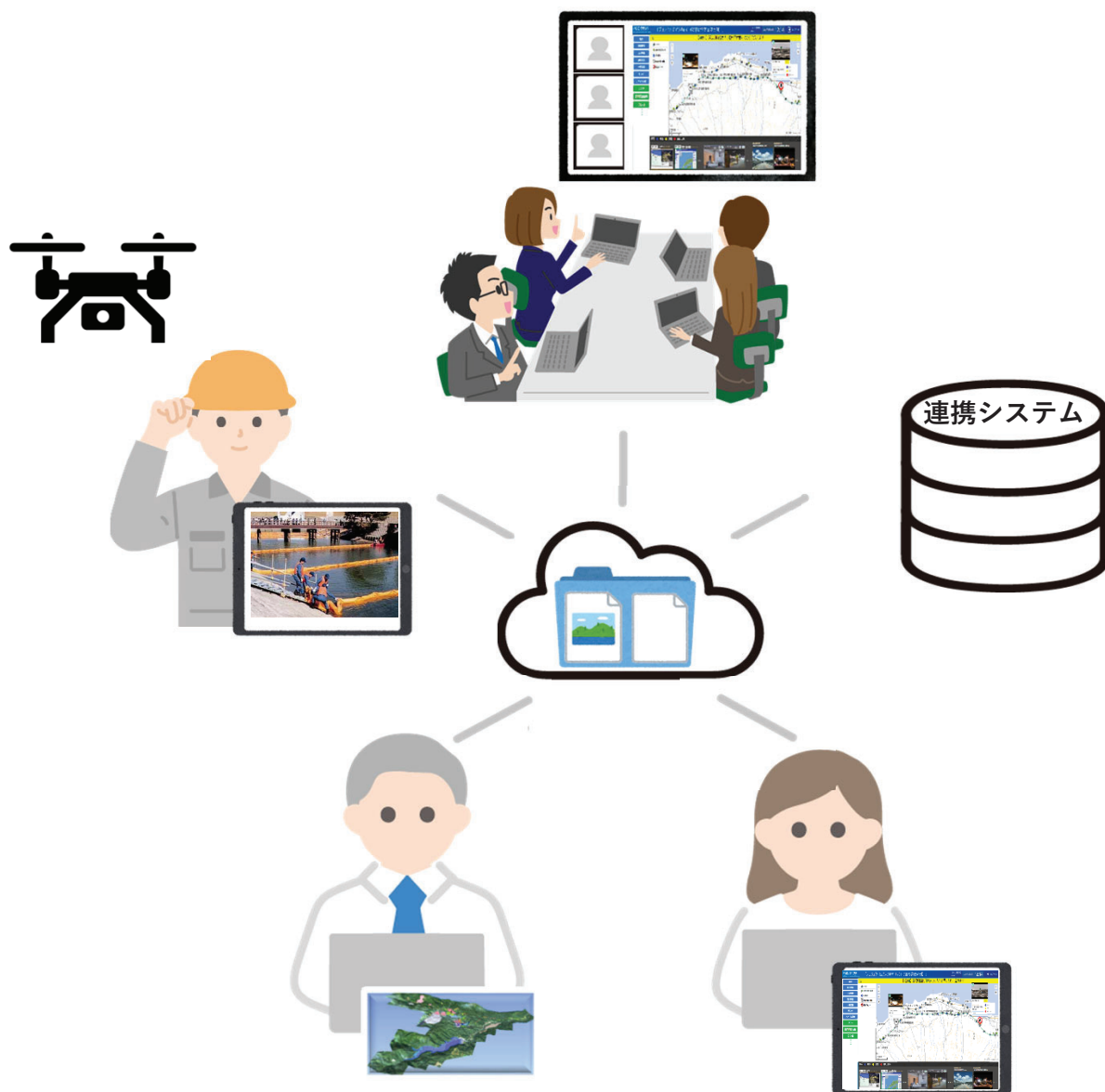


JACICクラウド

DX時代の新たなマネジメントを実現

-現場力の飛躍的向上-



● DX時代の新しい仕事の提案

JACICではBIM/CIMモデルの共有や情報共有のため、中核となる2つの技術を基盤とし、クラウド上の専門画面と見える手順書を用いた新たなマネジメントを提案します。

DX時代の新しい仕事の目標

- 1 公共調達関連業務を簡単・便利にする
- 2 事業のプロセス監理を上手に、スピーディーにする
- 3 維持管理、行政管理をレベルアップ、スマートにする
- 4 災害対応、復旧措置を迅速、確実にする
- 5 情報、データを使いこなせる現場にする

情報共有の中核となる2つの技術

ICTプラットフォーム

クラウドでICTプラットフォームを構築し3次元データ・モデル・画像・映像やXR等の活用、AI技術の導入等により現場の課題を解決する。

3次元統合モデル

ICTプラットフォームを構築し、3次元モデルの統合(3次元統合モデルの構築)を図るとともに測量・調査から設計、施工、維持管理までの様々なデータを属性情報等として紐付けし、集約・一元的に利用する。

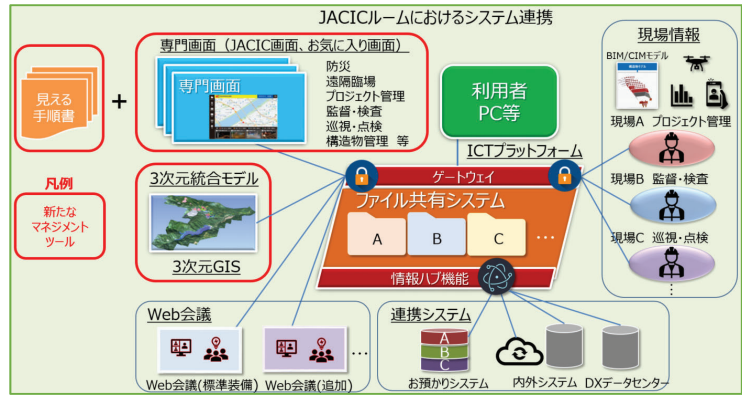
【新しいマネジメントを提案】

複数現場のモデルやデータ、画像・映像等の様々な情報を集約、一元化して合理的に手順を整理し、可視化及び共有化するとともに、効率的に継続的に関係者間で利活用できるシステムを構築すること

⇒「**専門画面**」と「**見える手順書**」(システム)によるDX時代の新たなマネジメントの実現

● JACICルーム（新たなマネジメントを実現するための場）

ICTプラットフォームを核に様々な情報を紐づけ、情報共有を行いながら専門画面を用いて目的ごとにマネジメントを実施する多機能作業室



● 専門画面

作業に必要なデータ、モデル、画像、映像等を複数の画面構成で集約、一元管理するもので、確認事項や作業手順等のマネジメント内容に応じて画面を構築する機能統合型画面

2種類の専門画面を提供

○「JACIC画面」

: 必要な機能を標準化して広く普及することを目的

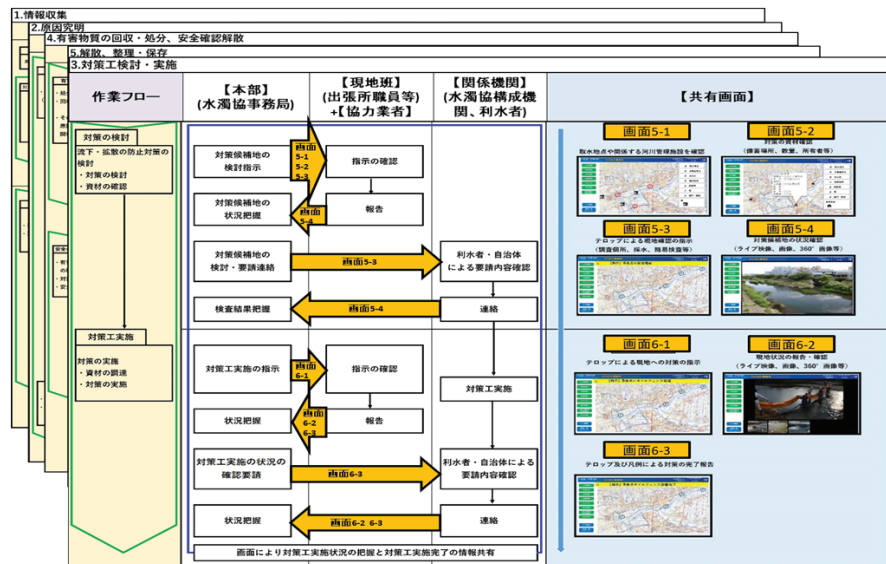
○「お気に入り画面」

: 利用者が独自かつ自由に機能を組み込めることを目的



● 見える手順書（システム）

様々な機器のオペレーションや業務のマネジメントの手順を、作業フローに基づき一貫して画像・映像を用いて可視化するとともに情報共有システムを用いて即時、同時に共有し、業務の即時性、的確性、効率性等を向上した画面の利用、操作システム



● JACICクラウド

JACICクラウドは行政管理者および民間会社向けに2種類のICTプラットフォームを提供しています。多種多様な情報の共有や利活用を即時・効率的・効果的に行えるプラットフォームです。

2種類のICTプラットフォーム

公共調達ルーム

公共調達プロセス関連サービスをシングルサインオンで提供

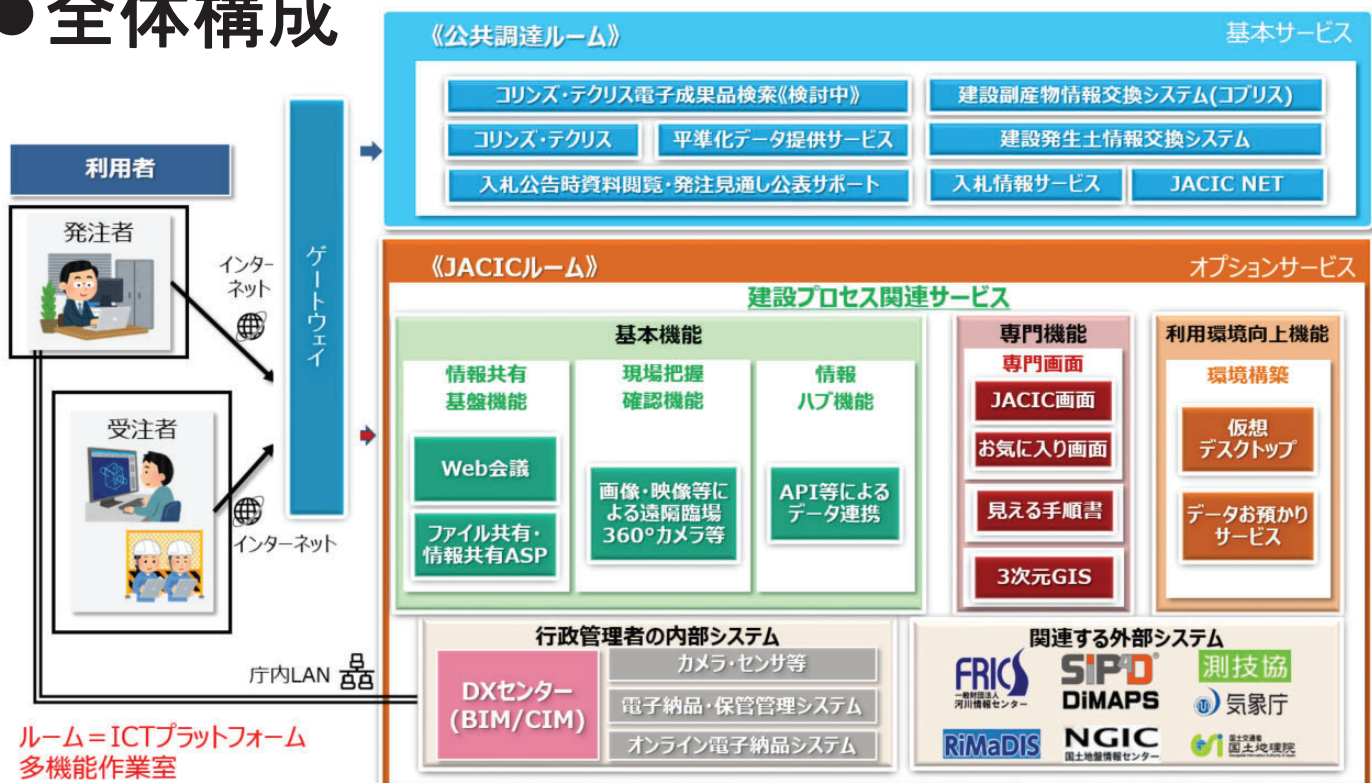
- ・発注、契約からオンライン電子納品までの公共調達基盤を提供
- ・コリンズ・テクリスや建設副産物システム等においてワンストップ化や手順の減少など既存のJACICサービスの利便性の向上

JACICルーム

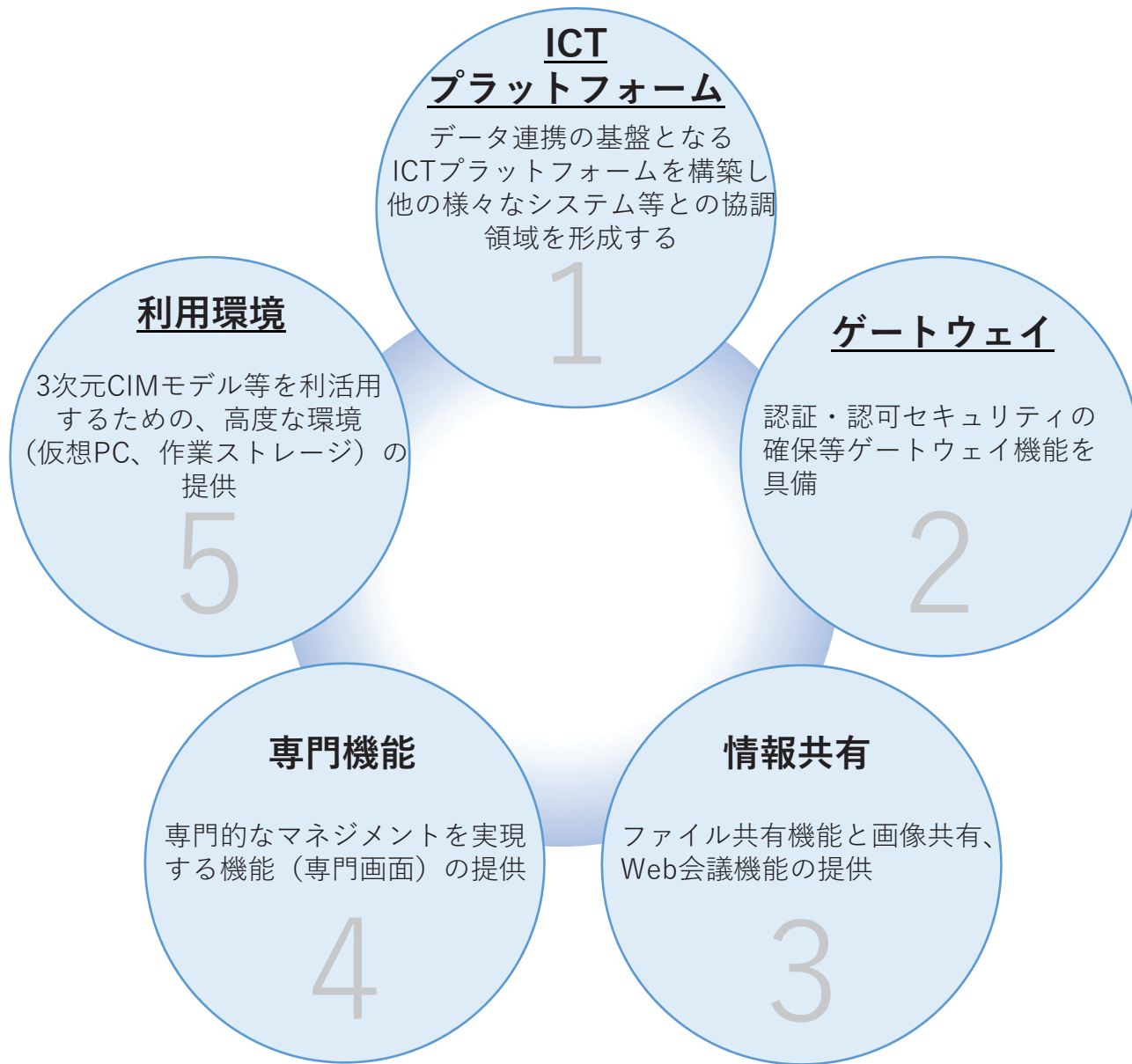
建設プロセス関連サービス提供と内部、外部とのシステム連携

- ・河川、ダム、砂防、道路事業において、プロジェクト管理、維持管理、災害時対応等各場面に応じた基盤を構築
- ・事業管理者の電子納品・保管管理システムを活用して成果品や計測データ等を利用

● 全体構成



●JACICクラウドの5つの特徴



【JACICクラウドによる効果】

1.時間とコストの産出

- ・人の移動を減らす(クラウドの即時性、同時性の利用)
- ・公共調達サービスをより手間なく便利に利用できます。
- ・様々な機能を集約・一元化してオールインワンで安価に利用できます。

2.真のデジタル社会への対応

データの利活用を可能にする仕組みを構築することにより、広くDXの効果を楽しめるようになります。

- ・プラットフォームと統合モデルの活用(集約と効率)
- ・情報共有環境から知恵の共有環境(知恵の共有)
- ・図面(紙、設計図面)から画面(電子データ、CIMモデル)の活用(情報の可視化)

3.新たな現場経験による技術力の向上

これまでの人、技術、システムの有する能力が技術革新により向上

● 専門画面によるマネジメント

- ・現場における様々な情報やデータを、一つの画面で組み合わせることで可視化
- ・見える手順書(システム)を画面で展開することで、画面を“見る”から“やる”
- ・JACIC画面は防災、プロジェクト管理、巡視・点検、監督・検査等目的に

テロップ機能

効率的かつ確実に指示や報告ができます。

情報ハブ機能

必要な外部情報を現地でも簡単に利用できます。

外部情報例

- ・川の防災情報
- ・気象庁:潮位観測情報
- ・日本道路交通情報(JARTIC)

地図機能

地図上に様々な情報を紐づけることで、現地状況を素早く把握することができます。

事例: 通行規制業務

通行規制業務では複数地点での現場状況の確認及び連絡・報告が重要となります。

2021/7/3

大阪国道事務所

淀川等防潮鉄扉閉鎖訓練 状況

< 専門画面(防災)の例 >



視化でき、必要な作業に関して素早く、効率的、効果的に利活用できます。
 “使う”へと進化することができます。
 に対応した多様な専門画面を順次構築・提供していきます。

写真機能

各地点で撮影した写真をリアルタイムで確認することができ、各地点の写真を一覧表示することも可能です。写真は360°画像にも対応しています。



LIVE配信機能

各地点のLIVE映像をリアルタイムで確認することが可能です。LIVE映像により各地点の状況を視覚的に即時把握することができます。

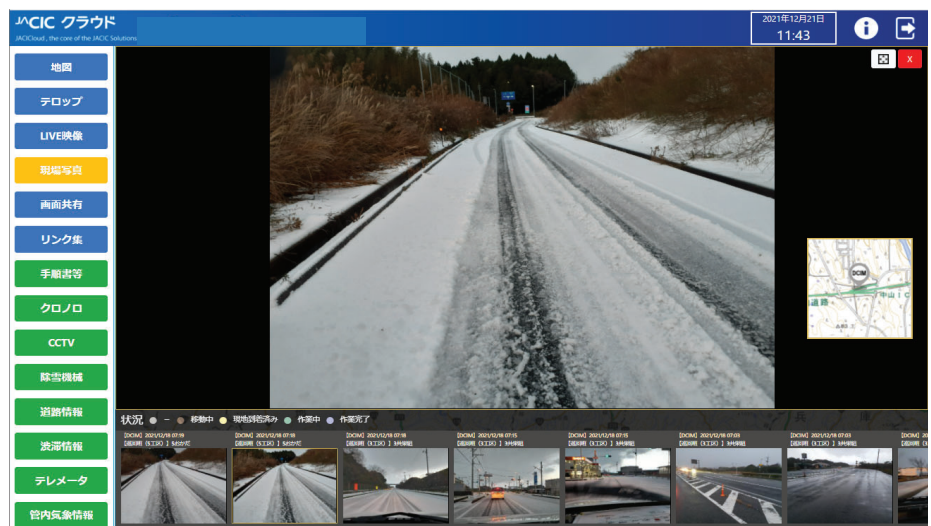


各地点の現場作業の状況を
一覧表示しLIVE配信

事例:雪寒業務

雪寒業務ではスタック車両等の移動および通行止め状況の把握が重要となります。

2021/12/18
 倉吉河川国道事務所
 雪寒対応状況



● 仕様及び料金

サービス名		内容	料金等（消費税込、年度契約が基本）
基本	ファイル共有	登録可能利用者 : 100 人 1 ファイルアップロード容量 : 15GB データ総容量 : 500 GB	<ul style="list-style-type: none"> ●左記セット標準料金：6.6 万円/月 ●個別サービスの追加料金 <ul style="list-style-type: none"> ・データ容量追加：500GB ごとに 770 円/月 ・Web 会議追加：1Web 会議ごとに 6,600 円/月 ●専門画面の構築及びデータ設定費用は別途
	Web 会議	同時開催会議数：1 同時接続可能数：100 程度	
	専門画面	JACIC 画面 ライブ映像配信機能 現場画像の共有機能（360°画像も含む画像、動画の登録閲覧機能） データと連携した地図表示機能 テロップ表示機能	
	お気に入り画面	利用者が業務シーンに応じたマネジメントを実施するため、独自かつ自由に画面を作成できる機能	
付加	GIS 地図	地図上のデータをレイヤー管理	●データ編集、加工等費用は別途

地方センター

地方センター(全国9ヶ所)にもお気軽にご相談ください

東京赤坂の本部に加えて、北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の全国9ヶ所に地方センターを配置しています

地方整備局・地方公共団体等への営業活動や技術サポートを行なっていますので、お気軽にご連絡ください

(連絡先等の詳細は JACIC のホームページをご覧ください)
<http://www.jacic.or.jp/about/syozai/syozai.html>



JACIC 一般財団法人
日本建設情報総合センター
 Japan Construction Information Center

東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル14階

<http://www.jacic.or.jp/>



＜問い合わせ先＞事業推進部
 TEL:03-3505-8102
 FAX:03-3505-8983



東京メトロ千代田線 赤坂駅 3a 出口より徒歩5分 / 3b 出口より徒歩4分